



Contents

- 事業紹介…男性学講座・男の子育てセミナー
- 特集…男女平等推進センターをもっと使いこなそう!
- 相談室だより…「立てこもり事件からみえてくるもの」
- 男女平等政策室からのお知らせ…市審議会等委員への女性の登用率
- 登録団体紹介…久留米男女共同参画推進ネットワーク(えがりて久留米)
- 図書情報ステーションコーナー…「ビデオの上映会をしました!」

<http://www.eipia.kurume.fukuoka.jp>



くるめ発

基調講演

講師:中村 彰さん(ジャーナリスト)



団塊世代は、「男は仕事、女は家庭」という「夫役割、妻役割」の意識が根深く、この世代の男性が地域や家庭に入っていくためには、意識を変える必要があります。特に会社時代役職者で部下がいたりすると、みんなが平等な地域社会や家庭に馴染めないことも。それぞれの人生で自分の「生きてきた道」をベースにどう変化させていくのか、またはその延長線上でどう生きていきたいのかを考えると今日の3人の方の事例紹介からヒントをもらっていただければいいな、と思います。

事例紹介①

鎌ヶ江 淳一さん

(ライフサポート専科 代表)



退職後、充電期間のつもりで趣味を楽しむだけの生活をしていたら、物忘れがひどくなり、放電期間になってしまい、脳を活性化するためにも、外に出てとにかく多くのことを学ぼうと決意しました。久留米市に住む母の介護のため福岡市との住居の中であちこちの男女共同参画センターのセミナーに参加しました。私の場合、「福岡県全体がキャンパス」だと思っています。介護のおかげで料理もできるようになりとても充実しています。

男の子育てセミナー 2007/3/18

◆「パパだって子育てしたい!?!」

今回のセミナーでは、子育てパパの経験談や企業の仕事と育児の両立支援の取り組みを話していただき、意見交換をしました。会場からは「体験談が聞けてよかった」「妻や子供とのコミュニケーションの大事さが再確認できた」「高齢者から見れば羨ましい限り」等の感想がありました。

コーディネーターの多賀さんからは、「働き方の工夫で、育児に参加することができます。楽しみながら子育てしましょう。」とアドバイスされました。

●宮崎 利清さん

育児休業や有給休暇制度など福利厚生インフラづくりを進めてきました。平成16年に男性が育児休業を1ヶ月取得されました。日頃からコミュニケーションを取ることで風通しのよい職場環境を作ることが大切だと考えています。これからは社員の家庭が円満で、子育て中でも働きやすい職場環境を社会全体で作りたいと思っています。



宮崎さん

●大久保 和己さん

妻が仕事に行き始めてから子供の面倒を見るようになりました。以前は、仕事で帰りが遅いし、自分の趣味中心の生活で、育児は全て妻任せだったため、子供がよってこないダメパパでした。今は洗濯や布団の上げ下ろしなど家事も進んでしています。自分の子育ては今始まったばかりです。最近、子供との会話を楽しみに9時には帰宅するようにしています。

●岩下 大輔さん

結婚当初から妻と共働きで1歳の娘がいます。家事の役割分担は決まらず、早く帰った方が料理を作るようにしています。結婚してから洗濯・料理を覚えて、頑張って作ったときに、妻と子供が美味しそうに食べてくれるのが一番幸せです。家事・育児は特に大変だとは思いません。可愛い子供と一緒に遊ぶのを楽しんでいます。皆さんも、気持ちよく、やったらできるんだから、積極的に楽しみながらやってみましょうよ。



左から、宮崎さん・大久保さん・岩下さん

■事例発表 & パネリスト

- 宮崎 利清さん
- 久留米市 課長 大久保和己さん
- 岩下 大輔さん
- コーディネーター 多賀 太さん



男性学講座 2007/3/9

センターで恒例の「男性学講座」。今年度は「2007年問題」で取り沙汰される団塊世代に焦点を当てました。

わが国の経済成長の牽引力として活躍した団塊世代が、定年退職で家庭や地域に戻り始めた今、男性中心社会において会社人間だった人が、退職後充実した人生を過ごすためには…。

男女共同参画の視点から男性の家庭や地域でのあり方について考えるため、男性学に詳しいジャーナリストの中村彰さんの基調講演に加え、地元でイキイキと活動している3人の「元気なオジさん」たちにそれぞれの「退職ライフ」の実践事例を紹介していただきました。その概要を紹介します。

事例紹介② 鈴木 武秀さん

(新設役の命 久留米地域世話人)



多数の海外の企業で働いた経験を生かして、退職後は単身イギリスにまる1年間留学し、外国人に日本語を教える課程を修了しました。今は夫婦でお互いに違う分野のボランティア活動をしています。現役時代から妻にはできる限り外に出て、いろんなことを経験するよう勧めました。また頻りに男女平等推進センターの講座を夫婦で受講したり、図書館ステーションでそれぞれの興味のある本を読んだりして、話し合ったり議論しながらセンターを活用しています。

事例紹介③ 山崎 武勇さん

(青竹竹灯ろう祭 発起人)



退職して、自分の好きなことを何でもやってみようと思いつきました。陶芸や草木染めなど作品が増えるばかりで家庭は迷惑がっていますが、娘の結婚式の引出物に作ったステンドグラスだけは大好評でした。竹灯ろう祭りは竹灯ろうを家の前に灯してみたいことと始まり、自治会「まぐろ」のメンバーがビデオ撮影や広報などそれぞれの得意分野を生かし、わずか3回目でも120本の竹灯ろうと、500人以上の参加を集めるようになりました。子どもたちも参加し世代間の交流や地域住民とのふれあいができたのではないかと感じます。

男女平等推進センターを



相談



支援事業



団体登録



図書情報ステーション

男女平等推進センターは、男女平等な社会の実現をめざして、皆さんとともに行動するセンターです。

もっともっと多くの方々にセンターを知って活用していただきたい。そういう思いをこめて、あらためて施設の利用方法や、市民活動支援に関する情報を紹介します。

もっと
もっと

使いこなそう!

「団体登録しませんか？」
センターを継続して利用する団体・グループが、一定の基準を満たした場合、団体登録すると特別な予約などの特典があらわれて活動をしやすいになります。

■登録の条件

- ① 自主的に運営している団体・グループ
 - ② 男女平等推進センターで定期的に活動している団体・グループ
 - ③ 男女平等推進活動を主な目的としていること以上の団体・グループ
- この3つの条件を満たすことが必要です。

■登録の特典

- 一 抽選の先行申し込みができます。
- 二 3ヶ月間の1日から抽選の受付を行い、11日以内にセンターで抽選します。この般利用は、この日までの間です。
- 三 抽選でもれの場合は、3ヶ月間の21日から抽選後の空き時間を予約できます。(先着順)
- 四 抽選・予約の団体は、貸しロッカーを利用できます。(有料)
- 五 活動・交流スペースの利用が優先です。
- 六 活動・交流・情報交換のためのいろいろな自由利用スペース・交流スペース「開放」や、オープンスペース、無料会議室、作業室、掲示板などを利用者がうれしい設備があり、登録団体の皆様には大変喜ばれています。



活動・交流スペース 無料会議室
登録団体が男女平等推進活動のために、使用できます。使用料がタダなのが、うれしい。



一時保育室
センター主催の催し物の時に、お子さんを預かることができます。子育てサークルの集まりの1日預かりができるサービスがあります。



活動・交流スペース、オープンスペース
数人でのひとざわは、グループ同士の情報交換・交流に。



授乳室
小さいお子さん連れにはうれしい。いつでも利用できます。



活動・交流スペース 作業室
団体・グループ活動の資料印刷・製本等の作業はこの部屋でOK!



研修室
大・中・小の3タイプあり、さまざまな市民活動やセンター主催事業が行われています。視聴覚設備も備わっています。



能力開発室
パソコンを活用した情報収集・発信、技術習得などの講座を実施しています。



「支援事業」を活用しよう
センターは、男女平等社会の実現をめざして活動する市民グループを、さまざまな形で支援しています。

■市民グループ企画公募

男女平等推進センターで実施する女性(男性)問題・ジェンダー問題をテーマにした講座・講演会などの企画を公募。採用された企画にかかる経費の一部補助。センターの施設使用料の免除や設備・機器等の借用、広報等に対する支援を行います。

■調査研究グループ公募

身近な女性(男性)問題を調査研究するグループの企画を募集。国内や海外への調査グループ派遣の形もOKです。調査研究にかかる実費の一部助成や参考文献・データ・人材などの情報の提供、センターの施設や機器の使用などの支援を行います。

■センター共催事業

センターの補助はありませんが、センターの施設使用料の免除や設備・機器等の使用、広報などに対する支援を行います。

※センターでは、主催する講座・催しにおいて、小さいお子様連れの前座者が参加できるよう、一時保育を実施しています。授乳室もあご利用ください。

※「登録団体」は「市民活動支援センター」に登録している団体です。また、登録団体は、お申し込みの際にセンターへお申し込みください。

もっと

センターがあなたのためにあることを 知ってほしい

女性のための相談室
があります。

生きづらさを感じているあなたが
あなたらしく生きることを応援する…
それが男女平等推進センターの相談室です。

- ★夫婦のことや親のことで悩んでいる
- ★夫や恋人からの暴力が……
- ★これってセクシャル・ハラスメント？
- ★子どもとの関わり方がわからない などなど

ひとりで悩まずに、まず、電話してみませんか!?

Q:どんな人が相談にのってくれるの?子どもも一緒なんだけど……

女性相談員や女性弁護士が、
問題の解決に向けてあなたと一緒に考えます。
相談は無料です。秘密は厳格に守ります。
必要に応じて一時保育を行います。(予約が必要です)

Q:相談っていつてもいいの?

相談日時は次のとおりです。面接相談は予約が必要になります。

- 総合相談…毎日 10:00~17:00
(受付・相談) 木曜のみ 17:00~20:00
 - 法律相談…毎月 第2・第4木曜日 13:30~16:00
(法律のみ) 第3木曜日 17:30~20:00
 - 労働相談…毎月 月・火・水・金 10:00~17:00
(労働のみ) 筑後労働福祉事務所の職員が応じます。
休館日の相談はありませんのでご注意ください!!
休館日は、月の末日/祝・休日/年末年始です!
- 相談専用ダイヤル 0942-30-7802 ●

図書情報ステーションってこんなところ

ここが強み

- ☆ジェンダー・女性問題男性問題・男女共同参画…調べるならお任せください。
- ☆あなたの問題解決のための資料やビデオがあります。
家族問題・労働・老後・女性と健康
女性に対する暴力、職場研修用資料などなど
- ☆女性グループ発行のミニコミ誌や女性問題関連資料がズラリ!
- ☆スタッフが、あなたと情報の出会いをお手伝い!

これは便利

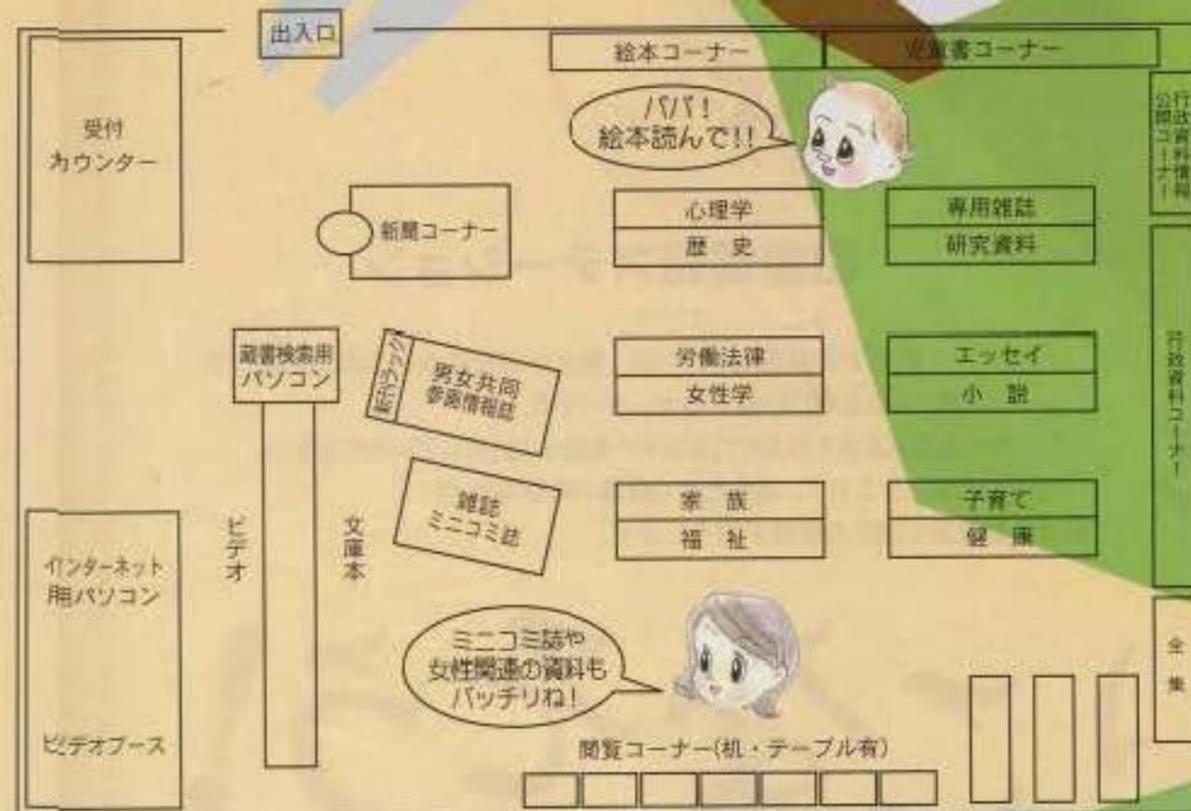
- ☆市民図書館各館の本が返せます。もちろん予約・取り寄せも!
- ☆インターネットでも予約ができます。
- ☆通路側には情報チラシがズラリ!どうぞお持ち帰りください。
子育て支援、チャレンジ支援、他センター、市内情報など

このほかにも、

- ◆ビデオ上映会(月1視聴覚ホールで好評開催中!)
- ◆フックタイム(子育て中のあなたに読書の時間を!)
- ◆男女共同参画掲示板(最新情報です!)

あなたのご利用まっせ〜ず。

図書情報ステーション配置図



男女共同参画の資料もそろっているネ。座ってゆっくり読もうかなあ〜。

「真の男女平等のまち 久留米をつくるために」

私たち久留米男女共同参画推進ネットワーク(愛称:えがりて久留米)は、男女の人権が尊重されるまち久留米の実現をめざして、合併を機に、市内の42の団体・グループが集まって発足しました。

平等を意味するフランス語「えがりて」には、人権の尊重と男女平等を願う私たち会員の熱い思いが込められています。

特に男女共同参画を推進する市内最大の民間組織として、行政への提言などの活動に力を入れています。

また、地域や各グループの特徴を活かした活動や交流も進めています。

昨年の「くるめフォーラム」には、えがりて久留米だけでなく、旧4町のネットワークも参画し、特別会場での講演やコンサート等多くの市民の皆さんに参加いただきました。

誕生して約10ヶ月、「男女ともに幸せに、個性豊かに生きていくるまち」を実現するために、男性会員の参加を呼びかけているところです。一緒に男女共同参画の輪を広げていきましょう。



相談室だより

今回から4回にわたり、「マスコミ」登場した、女性への暴力に関連する記事」をテーマに相談室だよりをお届けします。

根深いDV問題

愛知県で起こった「立てこもり事件」は、DV夫による離婚した妻への復縁の強要が動機というもので、衝撃が走りました。

DV防止法に基づく接近禁止の保護命令を受け、離婚も成立していながら、なおこのような形で自分の要求を押し付け、相手の人生を支配しようとする元夫の身勝手な考えや行動に、DV問題の根深さを痛感した方は多いと思います。

DV加害者の特徴は...

残念ですがDVの加害者の多くは、暴行・傷害という犯罪行為をしたという感覚が希薄なように感じます。自分が妻を脅かした、人格を踏みつける行為をしたという感覚に乏しいように思えます。何故なのだろうかと考えて見えてくるのは、妻に対する「自分のもの」意識、妻は「自分に従うもの」ととらえる意識です。「妻は夫に逆らわず、夫の思い通りにふるまうもの」という考えのもとに、妻に家事・育児を指示・命令し、夫中心の行動を強



制します。さらに、指示しなくても、妻が自分の考えや気持ちを察して、思い通りの結果を用意するのは当然とする意識があります。だから、思い通りにならない時の暴言や身体的暴力は妻への「しつけ・教育」であり「だから自分は悪くない」と自分のした行為を正当化します。それどころか離婚裁判の中で「自分は被害者」と主張する夫もいます。

被害者の安全確保への遠い道のり

このように加害者としての自覚を持ちにくい夫に、自分の行動を振り返り、反省し、変わるよう促すことができれば問題解決につながるのですが、加害者更生プログラムについてはその成果を問題視する声が多いようです。更生プログラムへの参加を口実に、妻に復縁を迫ることの問題性も指摘されており、被害者支援の観点から考えた有効な加害者更生プログラムの開発は容易ではありません。

ようやく安全な生活を手にした妻が、夫から脅かされずに生活を立て直していくためには何をどうすればよいのか、愛知の事件は私たちに大きな課題を投げかけています。

図書情報ステーション

『ビデオ上映会をしました〜! 貸し出しもできますよ〜!』



「秘密の花園」1993年 アメリカ (102分) 日本語字幕

両親を失い伯父の屋敷へ引き取られたメアリー。大邸宅の中で一人ぼっちの彼女がある日見つけた小さな鍵。それは... 『小公子群小公女』で知られるF・バーネットの児童文学を女性監督のA・ホラントがきめ細やかに描きます。



「老親」2000年 日本 (112分)

東京で暮らしていた成子(専業主婦・長男の嫁・40歳)は、オトノサマ舅の世話のために、奈良で7年間過ごした後、「自分を生きたい」と夫と離婚します。東京で作家としての自立した生活を送っていた成子のもとへ他人となったはずの元舅がなぜか「たごいま」と転がり込んできて...



「依頼人」1994年 アメリカ (120分) 日本語字幕

偶然ある事件を目撃したことで命を狙われることになった少年が、彼の全財産(1ドル)で雇ったのは、過去に傷を持つ女性弁護士リジー。さまざまな利害の渦巻く社会のなかで、自分と家族を守るために2人は戦う。

久留米市男女平等推進センター

〒830-0037 久留米市御影野町1830-6
 エーるピア久留米内
 TEL. 0942-30-7800
 FAX. 0942-30-7811
 URL: http://www.elpia.kurume.fukuoka.jp
 E-mail: danjo-city.kurume.fukuoka.jp



■徒歩/西鉄久留米駅から約10分(約700m)
 ■バス/西鉄久留米駅から約5分
 JR久留米駅から約20分
 「相模園前」下車、徒歩3分
 ■駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

男女平等政策室からのお知らせ

市審議会等委員への女性の登用率 32.0%

行政分野において、施策の対象及び影響を受ける者の半分は女性であることから、女性の参画を拡大していくことが重要です。市では、政策・方針決定過程への女性の参画を進めるため、審議会等委員への女性の登用を促進する取り組みを行っています。左の表にありますように、4月1日現在の登用率は32%でした。市では、平成22年度末の目標値を40%に設定しています。今まで以上に女性の参画が必要です。

各種委員の選任にあたっては、地域や関連団体等へ推薦をお願いすることも少なくありません。しかし、団体等の代表に女性が少ないこともあって、なかなか女性の登用が進まない現状があります。地域、企業や団体等の方針決定の場に、男女が対等なパートナーとして、共に平等に参画できるように環境を作っていきましょう。

久留米市における女性登用状況調査(H19.4.1現在)

名称	定数	現委員数			女性の比率%	
		女	男	計		
教育委員会	5	1	4	5	20.0	
選挙管理委員会	4	1	3	4	25.0	
公平委員会	3	0	3	3	0.0	
監査委員 (H19.5.16)	4	0	4	4	0.0	
農業委員 (H19.7.5)	52	2	50	52	3.8	
固定資産評価 審査委員会	18	4	14	18	22.2	
市議会議員(H19.5.2現在)	42	6	36	42	14.3	
審議会・ 委員会等	区分	数	現委員数		女性委員比率	
			男性	女性		計
	法律・条例等による	83	370	802	1,172	31.6
設置要綱等による	23	134	269	403	33.3	
	計	106	504	1,071	1,575	32.0